

金剛山頂付近で撮影した5月下旬の「花」を紹介いたします。

写真 ・ ミヤコアオイ

開花していました！ 暗紫色の超地味な花ですね...

ウマノスズクサ科のカンアオイ属の花で、山地の林床に生えています

“カンアオイ”(寒葵)とは、葉が葵に似ており、冬でも枯れない常緑多年草であるところから命名されたようです。(でも冬に落葉してしまう種もありますが)

写真 : ホウチャクソウ

雑木林などの明るい林床に生えます。

“ホウチャク”(宝鐸)とは、寺院建築物の軒先の四隅に吊り下げられた飾りで、垂れ下がるように咲く花がこれに似ているところからの命名ですね...

写真 : チゴユリ

白く小さな(1cmほど)花をうつむき加減に咲かせる姿から、花言葉は「恥ずかしがりや」、「純潔」...

写真 : オトコヨウゾメ

ガマズミと同じ仲間、秋には赤い実をつけます。

命名の由来は...

何か意味がありそうですが、定説はないようです...

写真 : ユキザサ

山地の林床に生える多年草で、ササに似た葉を5~7枚つけます。

命名の由来は、花の姿が雪の結晶、あるいは粉雪がついているように見え、葉の形が笹に似ているところからですね...











